令和２年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

西方寺 認定こども園

１、本園の教育・保育目標

生きぬく力の礎を育てる：心の力、体の力、学ぶ力を育む

「心の力」：様々な園内行事の中で経験を積む事で、頑張る事や我慢する心を養い立ち向かってくる壁を自力で乗り越えられる強い心の基礎を作る。
また、大自然の中で積極的に遊ぶ事で、子供たち同士のふれあいや助け合い、菜園での体験等「食育」を通して「生かされている命」に自ら気づいていく事で「感謝する心」を育てる。

「体の力」：「横峯式保育」の一環である柔軟体操を通し、十分に体を動かす事により健康丈夫な体が作られ、正しい生活リズムを身に付ける。

「学ぶ力」：自分で調べたり、自分でやってみること（失敗と成功の中）で経験値が高まり、自ら考え、判断し、行動実践する「自学自習」ができる。
子どもを育てるための一つとして、読み書き、計算に取り組み「学ぶ力」を身に付ける。

２、本年度、重点的に取り組む目標・計画

教育及び保育の目標、主な内容

「いろいろな子どもとかかわる中で違いを感じながら、自分や友達を受入れ主体的に活動する子ども」を目指し、2 歳児（3 号認定子ども）～3 歳児（2 号認定子ども）への滑らかな接続を考慮した保育を行う中で、一人一人の気持ちの安定や経験を積み重ね子どもが自己選択自己決定し、自分らしく生活や活動を進められる子どもを目指したい。
家庭や地域、関連機関と積極的に連携や協力を行い、積極的な子育て支援活動の取組を継続、推進する共に、特別支援教育の充実、幼児一人一人の特性に応じた指導の充実につなげたい。

３、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組状況
子育て支援の充実	・一時預かりを行い、急遽教育・保育が必要となった子どもや、保護者への支援ができた。 ・地域の子育て世帯、在園児の保護者に向けて子育て支援を行っている。
職員の資質向上	・今年度は、新型コロナウイルスの影響で研修の開催が少なかったが、Web 研修等に積極的に参加させ、園内研修を通じて、外部で学んだ研修内容を共有し、実践することで、質の向上を図った。

令和２年度自己評価・学校関係者評価・外部評価結果公表シート

西方寺 認定こども園

	・PDCA サイクルを回すことで、単にやりっぱなしの教育・保育ではなく、常に子ども達にとってより良い保育になるように、努めている。

４、認定こども園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育所から認定こども園に移行し、4 年が経ち、保護者、職員共に協力しながら、子どもたちへのよりよい保育、教育ができていると感じる。 平成 29 年度から処遇改善Ⅱによる、職員の資質向上に向けたキャリアアップ研修の機会が増えたため、積極的に参加させ、さらなる資質向上を目指していく。

５、今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
横峯式保育の理解と認識	・横峯式保育を取り入れてから、10 年以上になるが、未だ体操を行う保育園、スパルタという誤ったイメージがある。本来の、子どもの主体性を尊重し、自ら進んで意欲的に活動する日々の姿を、保育参観や保護者保育体験を通じて広めていく。また、体操だけでなく、学ぶ力や心の力の教育に重点を置き重点を置き教育・保育活動を行っている点も同様の方法で広めていきたい。

６、学校関係者の評価

特に問題点もなく、幼児教育の発展・充実に向けた取り組みに対し、熱心に励んでいる。

７、外部者の評価

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、地域での活動が少なかったが、毎年地域住民を園の行事に参加させ、児童と触れ合う機会を増やし、地域全体で子育てに取り組んでおり、大変評価できる。

８、財務状況

毎月、税理士の監査を受け、また毎年、公認会計士の監査を受けており、適正に運営されていると認められている